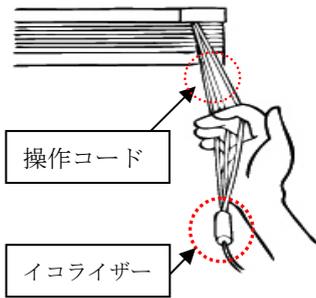


## ◆【重要】定期メンテナンスのお願い〔対象：2020年モデル〕

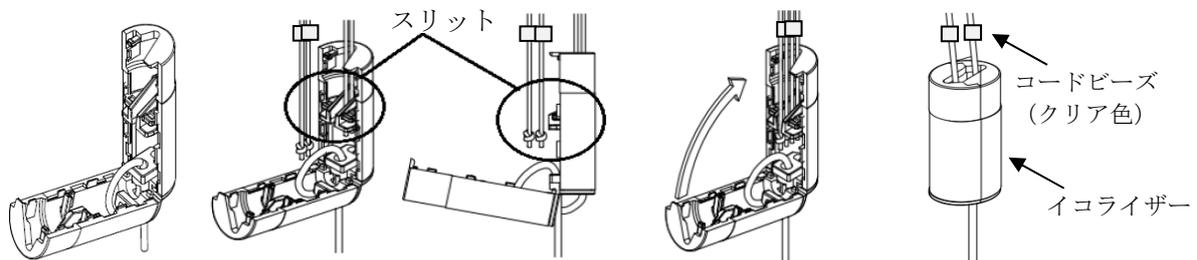
### ■定期的に操作コードの絡み（ねじれ）を整える（コードタイプ・上下コードタイプの場合）



開閉を繰り返すうちに、操作コードに絡み（ねじれ）が生じる場合があります。その際は、髪をとかすように操作コードの絡みを整えてください。コードの絡みが多い状態で使用し続けると操作が重くなったり、コードが摩耗しコードが切れてしまう可能性があります。お客様が安心してご使用いただくために定期的なコードの絡みを整えるメンテナンスを実施するよう必ずご説明ください。

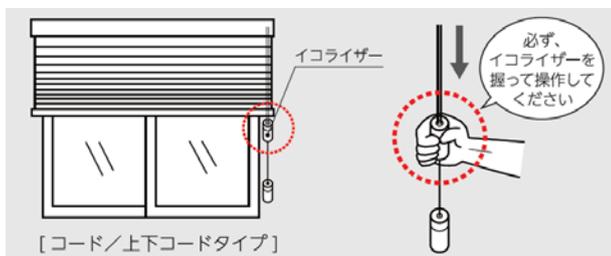


○操作コードの絡み（ねじれ）が解消できない場合は、イコライザーを外して操作コードの絡み（ねじれ）を整えてからご使用ください。



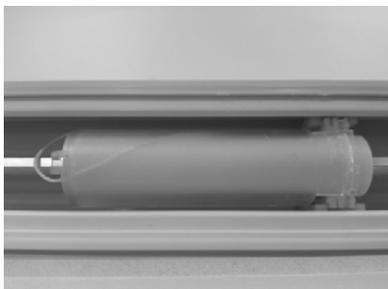
- ・コードビーズは、イコライザーが外れた時に操作コードが上部レール内に入ることを防止します。
- ・コードビーズは、イコライザーより上に露出するようにセットしてください。

○コードタイプ/上下コードタイプの操作方法について



コードタイプ/上下コードタイプのイコライザーは、一定の荷重が加わるとイコライザーが外れる安全対策品です。その為、操作時に少し乱暴に扱うとイコライザーが外れる場合があります。操作をするときは、必ずイコライザーを握って操作をするようお願いします。

### ■ループコードの操作がスムーズでない、開閉時に傾きが生じた場合の対応（次のページへ）



（上部レール内：スプール<糸巻部分>）

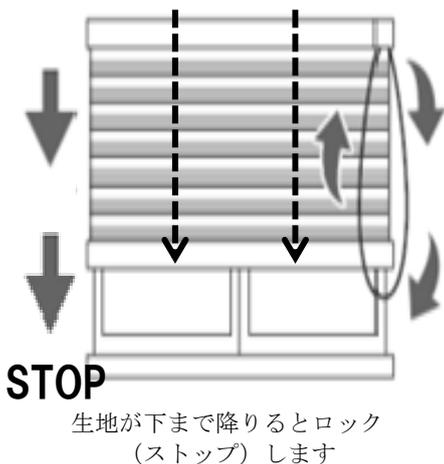


（開閉時：生地への傾き）

ループコードタイプは、操作コードを回すことによってスクリーン内のコードが上部レール内のスプールに巻き取られ、ブラインドを上げ下げすることができる構造となっております。不意に下部レールを持ち上げたり、障害物などが干渉すると内部コードにたわみが発生し上部レール内のスプール（糸巻き部分）にコード絡まりや脱落等の不具合が生じる場合があります。

■ループコードの操作がスムーズでない、開閉時に傾きが生じた場合の対応（つづき）

①操作して生地を下ろしていくと、巻かれていた内部のコードが降りはじめ、ブラインドが下がります。均等に巻かれているコードが降りることで、生地がまっすぐ下に下がっていきます。生地が下まで降りるとロックがかかり余分な操作を防止します。

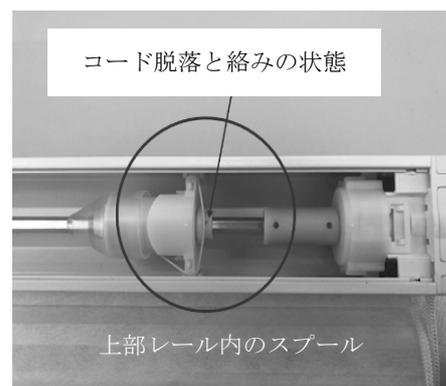


②【重要】生地を降ろした状態で、下部レールを持ち上げたりすると、本来まっすぐのびている内部コードが本体の中でたわんでしまいます。

※生地の下がるところに障害物や手で持ち上げないでください。



③【重要】この時、たわんだコードがスプール(巻き取り部分)から飛び出して、スプールの外でコードのひっかけりや絡まりが発生する場合があります。



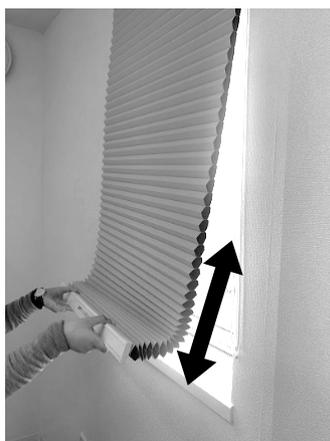
④内部でひっかかりができてしまうと、下の画像のように、操作した際にレールにひっかかった長さ分の傾きが出てしまいます。



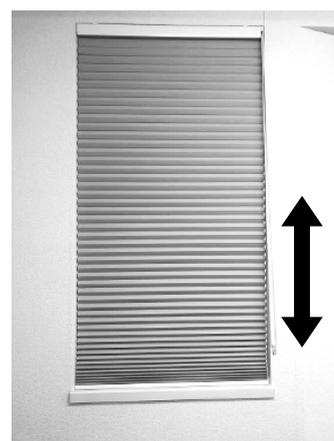
内部でコードが絡まっている状態

⑤手で下部レールを持ち、そっとレールを上下に動かしてみたり、トンと軽く引っ張ると解消される場合があります。

※あまり強く引っ張ったり上下すると内部のコードが傷ついたり、絡みを悪化させてしまう場合がありますのでご注意ください。



⑥何度か昇降の動作確認を行い、2往復ほど問題なく昇降ができれば、操作の不具合が解消された状態といえます。傾きが解消されない場合は、窓枠から取り外しての作業が必要となりますので、当協会にお問い合わせください。



《ハニカム a S s u》 WEBサイト  
<https://www.honeycom-b.com/>

※スマホ閲覧は下部メニューからご覧ください。

操作方法・メンテナンス等  
 動画で解説しています。  
 各種資料もダウンロード可。  
 ぜひご利用ください。

